



題字 井口 文章
再刊 第511号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2026

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面・合唱祭が開催されました！
金賞＆銀賞受賞クラスにインタビュー
二面・実行委員長が振り返る合唱祭
生理用品が試験的に設置されています！

奏思奏愛 今までの努力を芽吹かせて

令和七年度合唱祭 開催！

2月17日(火)、合唱祭がルネこだいら大ホールで開催された。今年度の合唱祭では昨年度と異なり、1年生の審査が書道美術クラスと音楽クラスで分かれて行われた。大盛り上がりでの合唱祭を振り返る。
(編集部共同取材)

オープニングセレモニー

開会の言葉を務めたのは、実行委員長の山下寧々さん
(2G)。「みなさん盛り上がりませんかー！」と生徒たちに呼びかけ、会場の熱気を高めた。続くオープニング



金賞 1D「空も飛べるはず」
「笑顔で歌う」ことを意識したそうだ

1年生 書道美術クラス

1年生書道美術クラスの部で銅賞に選ばれたのは、「全力少年」を歌った1年I組。楽曲に合わせて表わら帽子をかぶった生徒もおり、明るく元気な歌声を響かせた。



銀賞 1A「奏」

1年生音楽クラスの部で銅賞に選ばれたのは、「海の幽霊」を歌い、1年生ラストを飾った1年K組。「海獣の子供」の主題歌で、アニメ映画を彷彿とさせた。1年音楽クラスは、谷口裕哉さんによる、金賞の結果を知った時は驚いたそう。鈴野さんは「目指していたわけではなかったけど意外でした」と振り返る。三人とも本番中はあまり緊張せず、リラックスして歌えたという。

1年生 音楽クラス

1年生音楽クラスの部で銅賞に選ばれたのは、「海の幽霊」を歌い、1年生ラストを飾った1年K組。「海獣の子供」の主題歌で、アニメ映画を彷彿とさせた。1年音楽クラスは、谷口裕哉さんによる、金賞の結果を知った時は驚いたそう。鈴野さんは「目指していたわけではなかったけど意外でした」と振り返る。三人とも本番中はあまり緊張せず、リラックスして歌えたという。



金賞 1B「115万キロのフィルム」
強弱や歌詞の発音など細かいところまで練習した

1年生 音楽クラス

1年生音楽クラスの部で銀賞を獲得したのは「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」を歌った1年G組。合唱祭実行委員の岡部綾美さんは、受賞した時の感想について「金賞が取れなくて悔しかったけど、みんなで頑張った結果に繋がって嬉しかったです」と語ってくれた。

結果表	1年生書道美術クラス	1年生音楽クラス	2年生
金賞	1D 空も飛べるはず	1B 115万キロのフィルム	2G アイノカタチ
銀賞	1A 奏	1G あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～	2M 水平線
銅賞	1I 全力少年	1K 海の幽霊	2A カイト

練習振り返ってクラスに感謝 指揮者賞・伴奏者賞

最優秀指揮者賞

最優秀指揮者賞に輝いたのは、鈴木陽翔さん(2M)。鈴木さんのクラスは「水平線」を歌い、見事銀賞も受賞している。「指揮者賞をもらったのは自分ではないと思ったんです。選ばれて嬉しかったです」と発表の瞬間を振り返った。鈴木さんはよりよい指揮を振るるよう伴奏者とメトロノームに合わせて練習もしたという。また、自分だけの力ではなく、クラスメイトにアドバイスをしてもらったこと

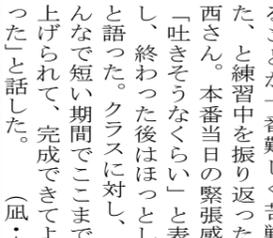


堂々とした指揮

指揮の精度を上げたそうだ。鈴木さんは2Mの仲間に向けて「みんなと上達できてよかったです。たかさんのアドバイスもありありがとうございました」とメッセージを送った。

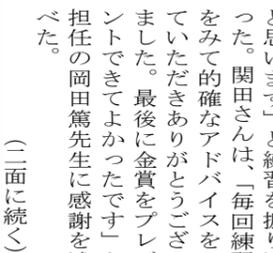
最優秀伴奏者賞

最優秀伴奏者賞を獲得したのは上西拓実さん(2H)。インタビューでは、「純粋に嬉しい」と微笑んで話をしてくれ



音の強弱にこだわった

とても驚いたのだそう。こだわったことは音の強弱など、特に曲のサビ直前など伴奏を大きくして盛り上げるようにしたのだという。指揮者に合わせて演奏することが一番難しく苦戦した、と練習中を振り返った上西さん。本番当日の緊張感を「吐きそうなくらい」と表現し、終わった後はほっとしたと語った。クラスに対し、「みんなで短い期間でここまで仕上げられて、完成できてよかった」と話した。(風・水)



銀賞 1G「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」

練習を結構頑張ってきたと思っていたから、めちゃくちゃ嬉しくて、みんなありがとうって思いました」とクラスへ感謝の気持ちを伝わり、合唱祭実行委員の辻知果さんは「学級閉鎖もあり、練習時間が限られていた中、クラスのみんなが放課後や音楽の授業の練習を一生懸命やっていたので、それが金賞という結果に表れたのがとても嬉しかったです」と喜びを語った。

むらさき草

小学生の時、人見知りかつ恥ずかしがり屋だった。緊張して声が出なくなる→聞き返される→委縮する→より声が出なくなる、という負の連鎖が会話の度に生まれていた▼それなのに小学5年生の時、朝教室に入ったら必ず先生に「おはようございます」と挨拶するというルールがあった。声が出なくて聞かなくていいから、怒られる日もあった。なんでもこんなルールがあるんだ、と何回も思ったし、怒られた日は朝から泣きたい気持ちになってた▼けれども、卒業するころにはなんだか慣れてきて、怒られることも少なくなった。中学に入学した時は、先に心の準備をすれば、近くの席の人に自分から「おはよう」と言えるようになった▼そうすると、相手も「そのキホルダーかわいいね！」と続けて話しかけてくれたり、次の日の朝、私が教室に入った相手から「おはよう」と挨拶してくれたりすることもあった。たつたつとこの挨拶が、仲良くなるきっかけをつくっていった▼先生がこのルールを課していた意味が分かった。挨拶は相手に話しかけられる一種の技だ。たいていの場合、相手も挨拶されたことで悪い気持ちにはならない。そのうえ、言葉を交わしたことで互いに少しだけ距離が縮まる気がする▼古代ローマの政治家、キケロの言葉に「感謝は最大の徳であるだけでなく、全ての徳の源である」というものがあるそうだ。自分から「ありがとう」と言える人は素敵だと思う。けど些細で簡単な一言だからこそ、疎かになってしまふことがある▼挨拶でも感謝でも、ちょっとした言葉一つを、もっと自分から言える人間になりたい。その少しの勇気を持つことが、人との繋がりを深めるきっかけになるだろう。(鳥)

先生合唱「勇気100%」に大盛り上がり！



かわいらしいダンスと合唱に、生徒は大熱狂。手拍子をして、盛り上げた。「普段とは違う先生の一面が見られて、楽しかったです！」とハイテンションで感想を話してくれた。

クロージングセレモニーで行われた先生合唱。森本慶先生の指揮、坂佳彦先生の伴奏で、「勇気100%」をかわいらしいダンスと共に合唱した。教員合唱を実行委員から頼まれ、企画を主体となって進めた神田智衣先生は「生徒から喜んでもらったようでよかったです」と微笑む。練習時間はあまりなかったそうだが、先生方のいろいろな意見を取り入れて、創り上げたそうだ。

2年生

2年生の部で銅賞を受賞したのは「カイト」を歌った2年A組。パワフルな歌声でホールを包み込んだ。

2年生の部で銀賞を受賞したのは「水平線」を歌った2年M組。合唱祭実行委員の佐々木瑠衣さんは、練習の様子について「頑張っていました！」と話す。同委員の亀田彩音さんによると、毎日朝練やパート練習をするなど熱心に合唱祭に向けて準備をしたそう。

同委員の竹内凜さんは「みんなで話し合いながら練習できたのが良かったと思います」と振り返った。ご意見フォームを作り、そこで練習についての意見などをクラスから集めるなどしたそう。

当日の合唱を、佐々木さんは「ちよっと緊張しちゃってミスもあったのですが、金賞を獲得して練習したからこそ銀賞を獲れたのだと思います。正直悔しいです」と話すと、亀田さんと竹内さんも「悔しかった」と声を揃えた。亀田さんは「最後にふさわしい曲だったんじゃないかなと思います」と話してくれた。

2年生の部で金賞を受賞したのは「アイノカタチ」を歌った2年G組。練習中にこだわった点について、合唱祭実行委員の根来宏輔さんはG組の良さを生かせるようにソロを入れるなど編曲をしたそう。

根来さんは「練習も、本番もみんな楽しくやれたと思います。笑いかけると笑い返してくれたりして指揮を振っている側からしても楽しかったです」と振り返った。クラスの仲間に対して根来さんは、「初めて指揮をしたのでよく分からない事ばかりだったけど、皆ついてきてくれて、ありがたかった」と述べた。

同じく委員の山下寧々さんは、「朝の練習もみんな集まってきて、熱を入れてるのは自分だけじゃないとわかって嬉しかったし、3年生になったらバラバラになると思うと寂しくなります」と話した。

2年生の全クラスの歌唱が終了し、行われたクロージングセレモニー。幕開けとともに、有志の先生による合唱「勇気100%」が行われた。その後各部門の結果発表と表彰が行ったという声が多く見られたという。また昨年度よりも、時間短縮できたそう。

一方で、インフルエンザなどの体調不良で、指揮者や伴奏者の当日変更などがあり、対応が大変だったそう。また、合唱祭集合時間の11時から終了の15時半まで生徒がお昼ご飯を食べられなかったことで、お腹がへる人が多くいたことを改善点として挙げられた。インフルエンザで練習がとめて短くなった中、

ここまで完成度の高い合唱祭が開けると思っていたいなかったと話す小沢さんは、「涙が出そうなくらい濃厚な活動で関わってくれた方一人一人のおかげです。本当にありがとうございます!!」と感謝を述べた。

山下さんは来年に向けて「もっと楽しめる、盛り上がるように新しいアイデアを出して欲しいです!」とエールを送った。(桃)



金賞を受賞した2G「アイノカタチ」G組の良さを生かせるようにソロを入れるなど編曲をしたそう。



2M 銀賞「水平線」

2年生の部で金賞を受賞した「アイノカタチ」を歌った2年G組。練習中にこだわった点について、やりやすかったです」と話した。

合唱祭グラフィティ



トロフィーを受け取って涙ながらに閉会の言葉を述べる。ピエロが助っ人で登場! クラスで音を紡いでいく

今までの成果を發揮

生理用品が設置されています! 1年間の実施を目指して

安心して学校を送れるよう 2月7日(土)から、女子トイレで行われている生理用品の試験設置。中央委員会が「必要な時に、必要な人が安心して学校生活を送れる」ことを目的として企画した。生徒部、養護教諭も管理の下、保健委員会が点検を担当している。

生理用品の設置について、錦城でも過去に公約に掲げた生徒会選挙の候補者がいたり、『錦城高校新聞』が都立高校の導入を特集したりした。今回は中央委員会一般委員で管理の金子優歩さん(2H)が中心となり、企画書を作って進めたという。金子さんは、都立などでは置かれている生理用品が錦城では設置されていないことに疑問を感じたことがきっかけだと語る。必要とする人が気軽に使用できること

が最終的に250件以上集まり、中央委員会の企画として学校に認められたそう。 「すごく助かった! 生徒の声」

生理用品を実際に使用したという1年生のAさん。生理用品を持っていたが使うことになった時はトイレに持って行っていかなかったそう。 「急に生理になったときだったので、すごく助かりました」と振り返った。着心地も良かったそう。他の生徒からは「安心して授業に集中できました」という声が上がった。

利用したことのない女子生徒からも、「生理用品がトイレにあったら便利だな」という声があった。金子さんは「必要なら使い捨てのティッシュに持ち帰らないこと。丁寧に扱うこと。この3点を守って、責任ある行動を心掛けてほしい!」と呼びかけた。(藤・綿)



実際に置かれている生理用品



責任ある行動を心掛けて

Kinio Unsung Heroes

誰かが清掃していることを忘れずに 連載 錦城のアンサンブローズ

錦城には、私たちの日常生活を見守り、学校生活を支えてくれている人たちがいる。そんな錦城のアンサンブローズさんたちにお話を聞いていこう! 思う。

「次に使う人へ気遣いを」 第一弾は校内清掃を担当される、清掃のプロフェッショナルの美化の方々。現在は、平良さん、大石さん、武田さん、静岡さん、宮本さんの5人だ。

「多量の生徒は綺麗に使って、清掃中に声をかけてくれる生徒もいます。でも、一部の人の使い方が目立っている傾向があるかな」と平良さんは最近の錦城生の様子を教えてくださいました。女子トイレの洗面台に髪の毛が散らばっていることがよくあり、ひどいときには、校則で禁止されている化粧品のパウダーが散らばっていたこともあったと

主なお仕事はトイレや廊下、視聴覚室などの特別教室、昇降口などの清掃。今回は代表として大石さんと平良さんにお話をうかがった。

トイレや廊下などの清掃をして下さっている美化の方々

「全体的に見れば、真面目でしっかりしている生徒が多く、勉強にも一生懸命な生徒が多いです」と錦城生を褒めてくれた平良さん。片づけている人がいること、次に使う人がいること、そして美化の皆さんへの感謝を忘れず、校内でお会いしたら気持ちを伝えてみよう。(菊)

鏡のお掃除をする

か、そういった気遣いをもつ意識できたら良いのかもしれないとアドバイスしてくれた。 美化の方々へ感謝を忘れずに

BREAKING NEWS

錦城の自販機に突如として現れた謎の商品選択ボタン。240円でランダムドリンクが2つ出てくるらしい。サントリーの自販機で一部展開されているそうで、錦城の自販機では今年導入された。少なくとも昨年はなかったそう。また、1月下旬

自販機に謎商品!?



頃に20円値上がりしたようだ。編集部員が4回試してみたところ、8本中ミルクティー2本、水、緑茶、メロンソーダ、レモネード、きりっとヨガとあまり偏りもなく大満足な結果となった。ぜひ一階のコピー機横の自販機へ足を運んでみよう。

生徒会動静

- ▽代議委員会 2月20日(金)
▽図書委員会
▽HR委員会 2月21日(土)